

2050年の未来予想図を描く

一人一人が、望む未来を伝え合う

2020年1月28日、林野庁「森林×SDGsプロジェクト」では、若杉浩一さん（日本全国スギダラケ倶楽部、武蔵野美術大学造形構想学部教授）、井口博美さん（同教授）とパワープレイス株式会社の皆さんのご協力をいただき、事前の募集で集まった方も含め、総勢50名の参加者により、「2050年の未来予想図の制作に向けたワークショップ」を開催しました。

テーマは「あなたが描く未来の暮らし方」。現在のよいところ、変えていきたいところ、2050年に実現しているかもしれないことなど、様々な職業の大人が真面目に話し合いました。

ワークショップのポイントは得意な人もそうでない人も、絵を描くこと。発案者である若杉さんは、計画段階で「線一本でも何かを描くには理由があるから、とことん考えるんだよ。」と言っていました。

2050年の姿を思い描きながら、それに続く今と自分を考える。描き留められていく絵に触発され、普段考えていることや誰かの受け売りだけでなく、潜在的に感じていたことにも話は及び、決められた時間ではとても議論は終わらないほどの盛況ぶりでした。

「あなたが描く森と都市の姿」をテーマとして開かれ、それぞれの未来予想図が完成するはずであったワークショップの2回目は、新型コロナウイルスの大流行により中止となってしまいましたが、ペンと紙があれば誰もが取り組み、自分事として何かを考える、この素晴らしいワークショップはきっと次につながっていくと信じます。



コンセプトブックの表紙について

表紙の絵は、ワークショップで描いた絵をパワープレイス株式会社の森麻衣さんが1枚の絵巻物のように仕立てていただきました。時に遠景を、時に細部を眺めて、未来を想像していただければと思います。それぞれの想いを1つの未来にするという難題を快く引き受けていただいた森さんと、森さんを推薦された若杉さんに心から感謝の意を表します。

たくさんの“想い”を描いていただきました！



（写真撮影：鈴木有吾さん）

おわりに

このコンセプトブックの作成は、2019年7月に開始しました。いろんな方と出会って、たくさんの感動があって、それを何とか形にできないかと、試行錯誤の日々でした。そんな中で、新型コロナウイルスの蔓延という事態を迎えました。明日の生命がどうなるかもわからない中で、この取組は不要不急ではないかと悩み、中断した時期もありました。ですが、コロナは、出口が見えない長いトンネルのように、私たちに不安な影を与え続けています。未来を考えることをやめてしまったら、そのトンネルはもっと長くなってしまおうと思ひ、きちんと完成させようと決めました。今後、みんなで「密」になれる日が来たら、「2050年の未来予想図」の作成プロジェクトを再開する予定です。このコンセプトブックをお読みくださった方と一緒に、未来予想図を描ける日を楽しみにしています。

ー コンセプトブックの作成にご協力いただいた皆様へー

Action1～Action5の取組の紹介記事は、掲載企業で各取組を担当されている皆様へのヒアリングや、メールでのやりとりを経て完成いたしました。お忙しい中、ヒアリングや現地の見学にお時間を割いていただいた皆様、突然のメールにも快く対応していただいた皆様に心から感謝申し上げます。また、今回のコンセプトブックには掲載しきれませんでした。他にも多数の企業の皆様にヒアリングの機会をいただきました。この場を借りて、御礼申し上げます。

掲載企業一覧

Action 1

株式会社パーク・コーポレーション parkERs（パークーズ）、三菱地所レジデンス株式会社、株式会社良品計画、アムニモ株式会社、合同会社オフィスキャンブ

Action 2

スターバックス コーヒー ジャパン株式会社、パワープレイス株式会社、株式会社竹中工務店、縁樹の糸

Action 3

株式会社フプの森、ブルックスホールディングス、株式会社インザパーク・株式会社オープン・エー/Open A、フォレストデジタル株式会社

Action 4

株式会社アキュラホーム、新政酒造株式会社、株式会社家's、東京大学生産技術研究所

Action 5

株式会社田子の月、株式会社ラ・ルース、大王製紙株式会社、三菱鉛筆株式会社、オンキヨー株式会社、アイ-コンポロジー株式会社、株式会社RBP、星光PMC株式会社、株式会社アシックス、株式会社光岡自動車、日本製紙株式会社、株式会社大林組、住友林業株式会社、株式会社竹中工務店、三菱地所株式会社、清水建設株式会社、野村不動産株式会社、ヒューリック株式会社

「2050年の未来予想図の制作に向けたワークショップ」

武蔵野美術大学教授の井口博美さん、若杉浩一さん、大学院生の角めぐみさん、パワープレイス株式会社の五十嶋 さやかさん、奥 ひろ子さん、倉内 慎介さん、下妻 賢司さん、鈴木 有吾さん、谷知 大輔さん、森 麻衣子さんには、企画、準備、ワークショップ進行、残念ながら中止となった2回目への準備に至るまで、多大なるご協力をいただきました。

また、初めての試みに不安を感じていた中、一般募集に応じてワークショップに参加していただいた皆様には、大きな力をいただきました。全ての方々に御礼を申し上げたいと思います。

※個人の所属はワークショップ当時のものです。また、お名前は所属ごとに五十音順に記載しています。

宇宙に木を植える
どこにいたって
木のチカラを感じていたい

足るを知る

大好きな桜、紅葉
四季を感じる暮らし
をしつづけてたい

生き物にあふれた
田んぼを当たり前

ガマンしないエコ
だからこそ心地いい

みんなで
畑を作って
木を伐って
ご近所づきあひ
が楽しい

生きがいや
つながりを得られる
からこそ、働く

テックの力で
ワクワクする毎日

会いたい人のもとへ
空間だって時間だって
飛び越えたい

時には
人とベタベタして
共感して
シェアしたい

アメーバ的
つながり

THE 日本家屋に
住みたい

全国の空き家を
転々として
ノマド的に暮らしたい

思いやりの
心を大切に



木製の
ロケットで
宇宙へGO!

都市は
宇宙と世界と
田舎をつなぐ
マルシェ

空飛ぶ舟で
街ごと移動

薪ストーブの横で
お酒を飲むと、
たまらない

ふくろうが住む
森を残したい

染め物、和菓子・・・
伝統文化を
未来につなぎたい

静けさは
宝物

古今東西の
文化が混ざって
新しい文化を生み出す

伝統食を
残したい

和食大好き
B級グルメも
大好き

未来に向かって続く道の
周りにはたくさんの森
やさしい時間が流れていく

法隆寺の宮大工の
イノベーション魂を
未来へ!

神輿も盆踊りも
進化しつづける